

2020年9月18日

一般社団法人 日本医療検査科学会 国際交流委員会

2020年度第1回委員会

1. 日 時：2020年9月17日(木) 18:00 ～ 18:40
2. 場 所：日本医療検査科学会事務局より On-line[Zoom]会議
3. 出席者(敬称略)：康東天、工藤芳子、大川龍之介、萩原三千男
欠席者(敬称略)：菊地良介
4. 配布資料：
 - 資料1：国際交流委員会 2019年度活動報告・2020年度活動計画・意見交換会
 - 資料2：2019年度 第1回国際交流委員会議事録
 - 資料3：2020年度 医療技術等国際展開推進事業 応募申請書
 - 資料4：2021年度 国際交流委員会 活動計画書

5. 議事

1) 報告事項

(1) NCGM への事業協力について

国際展開推進事業「ミャンマー国における薬剤耐性[AMR]サーベイランスと
抗菌薬適正使用[AMS]の強化事業」への協力

- ・第1回打合せ：2020年4月2日(木) 16:30～17:30、On-line[Skype]会議
- ・第2回打合せ：2020年5月22日(金) 11:30～12:20、On-line[MS-Teams]会議
- ・第3回打合せ：2020年6月19日(金) 11:00～12:00、On-line[MS-Teams]会議
- ・第4回打合せ：2020年7月29日(水) 13:00～14:00、On-line[Zoom]会議
- ・Kick off meeting of AMR exchange program in Myanmar：2020年9月10日(木)
13:00～16:00、On-line[Zoom]会議

本事業に協力をいただいている当会微生物検査・感染症委員会の柳原先生からの提示された研修内容に対して、ミャンマーNHLから回答を待つて次回会議を開催となることを確認した。

(2) 特別賛助会員について

特別賛助会員申込企業(敬称略・五十音順)：5社 (2020年9月17日 現在)

- ① アークレイマーケティング株式会社
- ② シスメックス株式会社
- ③ シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
- ④ 株式会社テクノメディカ
- ⑤ 富士フイルム和光純薬株式会社

- ・特別賛助会員に対し、2020年7月22日(水) 15:00～16:00、On-line[Zoom]会議にて、「2019年度活動報告・2020年度活動計画・意見交換会(資料1)」を開催した旨報告があった。

2) 審議事項

(1) 前回(2019年度第1回委員会)議事録の承認(資料2)

前回委員会の議事録に関しては、すでにメール配信を実施して意見をいただいているが、改めて内容を確認し資料の通りで承認された。

(2) 本年度の活動について

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、海外の学会や会議への参加や海外からの演者や研修受け入れが、当初の計画通り実現していない。
- ・審議(3)のなかで康委員長より、第29回中国医学装備協会学会(7月16日～19日)のシンポジウムで On-line 発表したことと、両学会の定期的な交流についての協議は叶わなかったことが報告された。また、この学会が“AI と検査医学”という委員会を立ち上げたので、委員長と事務局に対して国際交流委員会と一緒に活動をする打診を入れている。具体的には医療情報委員会と協力することで、国際活動が中国とできることが見込まれる。
- ・今後の新たな活動として NCGM 国際医療協力局の医療技術等国際展開推進事業の第二次募集に応募することし、資料3の通り「事業名:ミャンマー国およびアジア諸国における COVID-19 検査の教育研修支援事業」を応募申請した。
- ・今後、申請が採択された場合、来年の2月までが実質活動期間のため事業の推進を密に進めることを確認した。

(3) 2021年度の活動計画について(資料4)

- ・事務局から資料に基づいて来年度の活動について説明があった。
- ・来年の2月頃を目途に、参加する学会や協議企画など活動計画についてメールにて協議を進めることとした。

(4) 次回委員会の開催予定

- ・第35回春季セミナー:2021年4月17日(土) 沖縄県市町村自治会館
開催時刻・会議室は、後日決定し次第改めて委員に連絡することとした。

(5) その他

- ・委員の追加について
今後、海外学会との協力活動や当委員会として各分野の理解度を深めるために以下の分野で候補者の選考を進めることとした。
 - ①感染症領域で活動性の高い方
 - ②血液検査領域の専門の先生

以上

(記録:萩原)